

(質問)

台風の「大きさ」や「強さ」はどのようにして決めるのですか。

気象庁では、台風のおおよその勢力を示す目安として、下の表に示した「大きさ」と「強さ」で表現しています。

「大きさ」は、「強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いている、あるいは吹く可能性のある領域)」の半径で区分しています。さらに、強風域の内側で風速25m/s以上の風が吹いている、あるいは吹く可能性のある領域を「暴風域」と呼びます。

「強さ」は、台風の「最大風速」で区分しています。

「台風に関する情報」の中では、台風の「大きさ」と「強さ」を組み合わせ、「大型で強い台風」などと呼んでいます。単に「強い台風」という場合は、強風域の半径が500km未満(従って「大きさ」は表現しない)で、中心付近の最大風速が33~43m/sということになります。

台風が接近し、強風域や暴風域に入ると、雨や風が急に強くなりますので、十分な注意が必要です。

台風の大きさと強さ

大 き さ	
階 級	風速15m/s以上の半径
<表現なし>	500km未満
大 型 (大きい)	500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

強 さ	
階 級	最大風速
<表現なし>	17m/s以上 33m/s未満
強 い	33m/s以上 44m/s未満
非常に強い	44m/s以上 54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

(問い合わせ先)

連絡先 甲府地方気象台
担 当 防災業務課
電 話 055(222)9101